

薬剤部

薬剤部長 野崎 利浩

〔令和4年度部門目標〕

- ・病院の目標に対する薬剤部の目標
安全・安心な医療を提供し、信頼される薬剤師業務を遂行する。
- ・薬剤部の課題に対する目標
適正な薬物療法を提案できる薬剤師をめざす。
患者さんの立場に立って、心あたたまる態度で対応する。
良好なコミュニケーションをとり、チームワークを活かして業務を行う。

1 業務体制

(1) 業務内容

○調剤室業務	外来・入院調剤、院外処方箋監査・交付、 外来・入院がん化学療法監査・調製、注射箋調剤
○倉庫室業務	注射・外用薬定時払出、注射・外用薬臨時払出、注射箋用薬剤払出
○製剤室業務	T P N調製、院内製剤調製
○医薬品管理業務	麻薬管理、向精神薬管理、毒薬管理、特定生物由来製剤管理、 一般薬管理、マスタ管理業務
○夜間救急診療業務	採用医薬品管理
○D I業務	医薬品情報の管理・提供、副作用の報告
○病棟業務	病棟薬品管理、服薬指導、病棟薬剤業務
○外来業務	医薬品管理、外来患者服薬指導
○研修対応業務	院内研修会、院外研修会
○委員会業務	薬事委員会、治験審査委員会、化学療法委員会
○事務業務	庶務

(2) 業務スタッフ

常勤薬剤師 15 名，非常勤薬剤師 8 名，非常勤助手 3 名

2 業務実績

① 薬剤管理指導料算定件数（表1）

	合計	3 F	4 F	5 F	6 F	7 F	ICU	新生児
令和2年度	10,314	1,644	2,188	1,812	1,743	1,878	367	682
令和3年度	11,491	2,254	2,248	2,034	1,480	2,051	261	1163
令和4年度	11,255	2,189	2,315	2,239	1,412	2,046	307	747

② 院外処方箋発行率（表2）

	発行率	合計	院外	院内
令和2年度	96.3%	41,574	40,053	1,521
令和3年度	95.5%	44,661	42,659	2,002
令和4年度	95.2%	44,312	42,198	2,114

③ TPN、外来・入院がん化学療法の無菌調製（表3）

	TPN調製件数	がん化学療法注射箋件数
令和2年度	121	1,197
令和3年度	45	1,148
令和4年度	140	1,103

④ 病棟薬剤業務実施加算件数（表4）

	合計	3F	4F	5F	6F	7F	ICU	GCU	NICU
令和2年度	12,425	2,066	2,427	2,229	2,236	1,643	412	471	941
令和3年度	13,783	2,429	2,480	2,726	2,221	1,794	422	550	1,161
令和4年度	13,079	2,371	2,383	2,628	2,201	1,786	469	90	1,151

3 1年間の経過と今後の目標

薬剤管理指導については、表1のとおり、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり10,314件と減少したが、令和3年度は11,491件、令和4年度は11,255件と令和元年度とほぼ同等の月平均は約950件まで回復した。

院外処方箋発行率は、表2のとおり、令和2年度から令和3年度は0.8ポイント、令和4年度は更に0.3ポイント減少し95.2%であった。これは新型コロナウイルス感染患者への院内処方の対応が増加した為、発行率が減少した。

TPNや外来・入院がん化学療法の無菌調製については、表3のとおりだった。TPN調製は、令和3年度は45件で令和2年度より76件と減少したが、令和4年度は141件と増加した。がん化学療法の無菌調製件数は、令和3年度では外来917件・入院231件であったが、令和4年度では外来889件・入院214件となった。外来件数は28件減、入院件数は17件減、全体として45件の減少となった。

後発医薬品は、出荷調整や製造中止で先発医薬品に戻した品目もあり、387品目と昨年度より13品目の減少の94.1%となったが、後発医薬品指数の目標である88.5%を超えていた。

薬薬連携に関しては、連携充実加算の算定要件である研修会を今年度もオンラインで開催した。また、PBPMについては、千葉市薬剤師会と7項目の契約を更新し、新たに院内PBPM4項目を追加し、全体で40%の削減となった。

病院機能評価を今年4月に受診し、薬剤部として指摘事項も無く、薬剤師の病院全体への関与に高評価を得た。

今後の目標としては、救急医療体制の拡大や診療科の増加に伴う適正な人員配置や勤務体制の検討を行い、また新薬等の医薬品情報に迅速に対応出来るように自己研鑽に励み、病棟業務や外来業務に質の高い介入を目指し、常に患者の気持ちに寄り添い安心して信頼される薬剤業務を遂行して行きたい。

〈資格修得〉

がん薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	1名
感染制御認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	1名
妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	1名
小児薬物療法認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）	2名
救急認定薬剤師（日本臨床救急医学会）	1名
糖尿病薬物療法履修薬剤師（日本くすりと糖尿病学会）	1名
日病薬病院薬学認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	9名
認定実務実習指導薬剤師（薬学教育協議会）	5名
研修認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）	5名
がん専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）	1名
栄養サポートチーム専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）	5名
日本DMAT隊員	2名
スポーツファーマシスト	1名
千葉県糖尿病療養指導士	1名
千葉県災害時支援薬剤師	1名
心不全療養指導士（日本循環器学会）	1名